

令和5年度 山梨県ふるさと納税充当事業成果報告書

分野1 ふるさとの水を育む森林保全に関する取り組み

◆県民緑化まつり事業

緑や森林に対する関心が高まる中で、緑をつくり・緑を育て・緑を守る意識を啓発するとともに、県民参加による緑づくりを行うことにより、うるおいと安らぎのある緑豊かな県土づくりを目指すため、本県では「県民緑化まつり」を毎年開催しています。



令和5年5月13日(土)、甲府市総合市民会館において、「令和5年度県民緑化まつり」として記念式典を開催し、およそ300名が参加しました。

また、西下条公園と古府中町地内民有林（市道酒折茶道線沿線）において、ソメイヨシノ3本、ドウダンツツジ150本、ヤマザクラ200本、コブシ200本、コナラ200本を植樹しました。

◆松くい虫等総合対策事業

本県の観光地や景勝地等の景観を構成する大切な存在の一つであるアカマツ。このアカマツが枯れる原因となるマツノザイセンチュウの侵入、増殖を防ぐため、マツの幹に薬剤を注入（樹幹注入）し、松くい虫の被害を未然に防ぐための対策を行っています。



令和5年度の樹幹注入による予防事業は、昇仙峡（甲府市・甲斐市）、万力公園（山梨市）、塩の山（甲州市）、諏訪の森（富士吉田市）、剣丸尾（富士吉田市・富士河口湖町）において、延べ1,280本のアカマツを対象に実施しました。

◆種苗林木育種事業

一粒の種子から芽生えた小さな苗木がやがて大きな木となり森が形づくられます。山梨の豊かな森の風景を未来に残し、また、木材資源を絶え間なく生産する場として森を活用していくために、種子は欠くことのできない基本的存在です。



本県では、「小淵沢」（北杜市）、「切久保」（南部町）、「富士山」（富士吉田市）など6ヶ所に県が保有する採種園（優良苗木の種子を採取する場所）のほか県内各地から採取した種子を、県内の苗木生産者の方へ供給しています。令和5年度はこの事業により、これら採種園の管理（下草刈り10.8haほか）や種子の採取（95.2kg）などを行いました。

◆山梨の自然が育む水の魅力と育水の啓発事業

やまなし「水」ブランド戦略に基づき、健全な水循環を守り育てる「育水」を推進するため、環境教育イベントを開催しました。

また、やまなし「水」ブランドの認知向上や意識の醸成を促すため、YouTubeやInstagramなどのSNS、イベ



ントなど複数の広報媒体を活用した情報発信を行うとともに、水の魅力に触れる体験などを紹介するガイドブックを作成し配布することで、山梨県の豊かで良質な「水」の魅力を全国にPRしました。

◆自然公園美化推進事業



本県の山岳観光地である南アルプス地域（国立公園・県立自然公園）、八ヶ岳地域（国定公園）、秩父多摩甲斐地域（国立公園）を清浄な環境に保ち、自然景観を保護するため、自然公園内の登山道等の清掃及び整備活動、除草活動等に対して助成しました。

◆ニホンジカ・イノシシ・ニホンザルによる農林業被害等の防止

増加または生息域を拡大しているニホンジカ・イノシシ・ニホンザルについては、第二種特定鳥獣管理計画に基づき、適正な個体数調整により、農林業被害や生態系への影響を軽減するため、管理捕獲を実施しました。



分野2 富士山の保全、環境美化に関する取り組み

◆富士山世界遺産センター運営事業

富士山の顕著な普遍的価値の普及啓発及び保存管理の拠点である富士山世界遺産センターにおいて、企画展の開催、教育旅行の受入、富士山の総合学術調査研究の実施及び発表等を行い、世界遺産富士山の後世への継承に向けた取り組みが進みました。



分野3 ふるさとの青少年育成に関する取り組み

◆山梨県立大学施設整備費補助金

令和5年度は、山梨県立大学飯田キャンパス図書館改修工事、池田キャンパス2号館既設空調設備改修工事及び屋上防水改修工事、並びに4号館屋上防水改修工事を実施し、学生や利用者が快適に過ごせる環境を整備しました。



◆産業技術短期大学校等就学サポート事業

生活が困窮し経済的な不安を抱える学生も安心して職業能力開発施設で学び続けることができるように創設された給付型奨学金制度に基づき、経済的不安を抱える学生に就学給付金を支給しました。

○支給実績

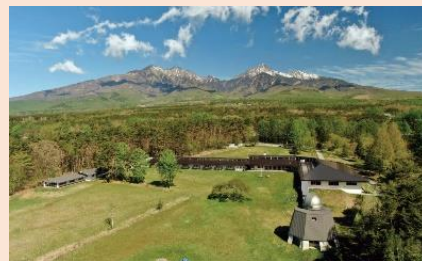
令和5年度：25人（支給額：6,751,300円）

◆八ヶ岳少年自然の家の運営

県立八ヶ岳少年自然の家は、恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ、心身ともにたくましい少年を育成することを目的



に設置された青少年教育施設です。



施設では、集団宿泊体験をはじめ、冒険ハイクや野外炊事、クラフト体験等、自然体験・生活体験・交流体験を効果的に実施し、延べ37,000人を超える方にご利用いただきました。

分野4 ふるさとの福祉向上に関する取り組み

◆百歳長寿褒状贈呈事業

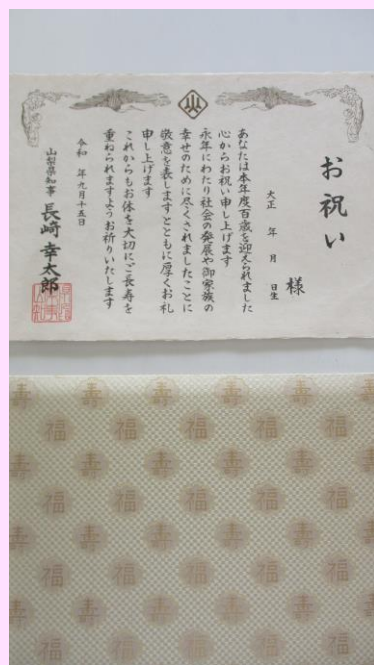
敬老思想の向上を図るため、県内にお住まいで新たに100歳を迎えられるお年寄りと県内最高齢者に対し、例年、老人週間に併せて知事の褒状及び褒状入れを贈呈しています。

褒状は手漉き和紙、褒状入れは郡内織物と、贈呈品には県産品を使用しています。

令和5年度は、427人のお年寄りに褒状と褒状入れを贈呈し、ご長寿をお祝いすることができました。

◆やまなし子育て応援事業費補助金

仕事と子育ての両立を支援するため、年収約640万円相当未満で対象となる27世帯について、第2子以降が3歳になるまでの間、障害児通所支援事業利用に係る費用を無料化し、子育て世帯の経済的負担軽減を図りました。



◆子育て支援人材育成強化事業費

子育て支援関係者の資質向上と、地域における子育て支援の取組を促進し、地域全体で子育てを支援する子育て協働社会の構築を図るため、『子育て支援の経済学～次世代への投資＝子育て支援～』と題して、東京大学大学院教授によるオンライン講演会等を開催しました。

◆やまなし子育て応援事業費補助金

年収約640万円相当未満の世帯の第2子以降の保育料について、3歳になるまでの間、保育料を無料化し、子育て世帯の経済的負担軽減を図りました。

◆4・5歳児等保育・教育推進事業費補助金

保育・教育の質の向上、保護者が安心して子どもを預けることができる環境の整備のため、4・5歳児を担当する幼稚園教諭を、配置基準を超えて配置し、手厚い保育等を実施する幼稚園に対して支援を行いました。

当該事業の実施により、児童一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い保育等を推進することで、地域社会の要望に即応した保育・教育体制を確立し、児童福祉等の向上を図りました。

【幼稚園教諭配置基準】

対象児	子どもの数	教諭の数	子どもの数	教諭の数
4・5歳児	35	1	25	1

◆産休・育休明け保育推進事業費補助金

保育の質の向上、保護者が安心して子どもを預けることができる保育環境の整備のため、1歳児を担当する保育士を、配置基準を超えて配置し、手厚い保育を実施する保育所等に対して支援を行いました。

当該事業の実施により、保護者の産休・育休期間が終了した乳幼児の円滑な保育所入所を促進することで、地域社会の要望に即応した保育体制を確立し、児童福祉の向上を図りました。

【保育士配置基準】

対象児	子どもの数	保育士の数	子どもの数	保育士の数
乳児（0歳児）	3	1	3	1
1歳児	6	1	4.5	1
2歳児	6	1	6	1
3歳児	20	1	20	1
4歳以上児	30	1	30	1

やまなし子育て応援ネットワークはぴはぴ 2023
山梨県子育て支援人材育成強化事業

プログラム1 基調講演 10:10~11:25 (質疑応答を含む)

子育て支援の経済学
～次世代への投資＝子育て支援～

東京大学経済学研究所教授
山口 慎太郎 氏

日時 令和5年 12月 9日(土)
10:00~12:15 (ZOOMを併用したオンラインセミナー)

対象 子育て支援・応援に関わる方、行政関係者、研究者、子育て支援に関心のある方(参加費無料、定員先着80名)

【山口慎太郎氏プロフィール】
東京大学経済学研究所教授、内閣府・男女共同参画推進局長なども務める。1999年慶應義塾大学経済学部卒業。2001年同大学大学院経済学研究科修士課程修了。2006年アイルランド・ダブリン・コリンズ大学経済学博士(Ph.D.)取得。カダジマ・マクマスター大学助教授、准教授、東京大学助教授を経て2019年より現職。専門は労働市場を軸とする「労働経済学」と経済・社会・子育てなどの経済学的手法で研究する「家庭の経済学」。『家庭の経済学』の経済学(文芸春秋)で第4回ベストリーダー賞を受賞。『子育て支援の経済学』(日本評論社)は第44回日経・経団連賞を受賞。2021年に日本経済学会の会員賞。

プログラム2 11:30~12:15
オンライン交流会

お申し込み 専用フォームよりお申し込みください。
①二次元コードを読み込み
②必要事項を入力
③送信
※お申し込みは12月7日(木)まで
※お申し込みは12月7日(木)まで
●締め切り：12月2日(土)

お問い合わせ先：Happy Space ゆうゆう (事務局)
0563-47-7942 / 月～金 10:00～17:00

主催：山梨県 ●実施主体：やまなし子育て応援ネットワークはぴはぴ

◆産前産後ケアセンター利用費補助事業

妊娠中の悩み相談に加え、出産後、慣れない育児で疲れてしまいがちなお母さんの心と体に寄り添いながら、お母さんが明るい気持ちで子育てができるようサポートする施設です。



令和5年度は、延べ517組のお母さんとお子さん、宿泊型産後ケアをご利用いただきました。

利用者へのアンケート調査でも、非常に高い満足度をいただいております。多くのお母さん方の子育てに対する不安軽減に役立っています。

分野5 高校教育の充実に関する取り組み

◆グローバル人材育成教育プログラム

令和3年度より、県立高校においてグローバル化に対応できる生徒を育成することを目的とした教育プログラムが本格的に開始されました。授業においてはICTを効果的に活用しながら、ディスカッションを中心とした質の高い探究的な学びが行われています。



これまでふるさと納税を充当していただいたおかげで教室の整備が進み、令和5年度に行われた認定機関による外部評価では、学習環境について高い評価を得ることができました。また、授業で使用する書籍も充実させることができました。

令和6年3月には2度目の卒業生を送り出すことができました。

◆公立高等学校等入学準備サポート事業費

高校生の就学に対する国の経済的支援に加え、県独自の給付金制度により、経済的に余裕のない世帯の負担軽減を図りました。

- 支給対象 高校への入学準備に必要な経費 ①制服 ②体育着 ③上履き ④体育館履き
- 支給額 一人50,000円
- 支給実績 令和5年度：404人（支給額 20,200千円）

◆自ら学ぶ学校図書館活用事業

(事業の概要)

学校図書館は資料を収集・整理・保存し、生徒及び教員の利用に供することによって学校の教育課程の展開に寄与し、生徒の健全な教養を育成するために欠くことのできない基礎的な設備です。

また、高等学校学習指導要領（平成30年告示）には、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること」とあります。

学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の更なる充実を図るため、県立学校に学校図書館情報管理電算システムを導入し、各校の図書館情報管理（蔵書管理）と学校間相互の蔵書検索及び貸借を行っています。

(事業の成果)

県立高等学校及びろう学校の図書データが共有されることで、生徒の調べ学習の幅が拡大し、知的興味の喚起につながっています。

また、令和5年10月のシステム更新に伴い、サーバ型システムからクラウド型システムに移行しました。更新前は図書館に設置されている検索専用パソコン以外では蔵書検索ができませんでしたが、更新後は生徒の個人端末からも蔵書の検索及び予約が可能となりました。

学校間での同種図書の購入に係る経費削減も見込まれ、各学校の特色や生徒の実態に応じた図書の購入、学校図書館の充実につながっています。

(実績)

県立高等学校間の相互貸借による貸出総数 令和5年度 1, 147冊



クラウドファンディング

◆人と動物の共生社会推進事業

・ミルクボランティア事業

県に搬入される子猫の多くは、生まれて間もない子猫です。自力で体温調節や排泄ができないため、数時間おきに授乳や排泄を促す必要があります。

そこで、譲渡できる状態になるまで子猫のお世話をするミルクボランティア事業を実施し、活動支援として必要なミルク、ペットシート、哺乳瓶等の飼育に必要な物品を支給しています。個人59名、団体2団体の登録をいただき、148匹の育成を委託し、134匹の譲渡へとつなげることができました。



・猫不妊・去勢手術助成制度補助金



県に搬入される猫のほとんどが、飼い主のいない猫から生まれた子猫です。また、飼い主のいない猫の無秩序な繁殖は、地域におけるふん尿や鳴き声など、環境問題にも関係しています。これらの問題への対策として、県では以前より、市町村が実施する飼い主のいない猫への不妊・去勢手術の助成制度に対する補助金交付を行ってきました。

令和5年度は、飼い猫及び飼い主のいない猫を対象（補助額：不妊手術15,000円/匹、去勢手術10,000円/匹を上限（飼い主のいない猫は1,000円を加算））として、2,992匹の不妊手術、2,579匹の去勢手術に活用されました。

◆富士山麓の不法投棄廃棄物撤去作業

(事業の内容)

富士山麓の環境美化のため、NPO等が主体となり、不法投棄により長期間放置されている産業廃棄物の撤去活動を支援する事業です。



(事業の成果)



- ・認定特定非営利活動法人富士山クラブが主体となり、6月～12月までに、計7回撤去活動を実施しました。
- ・ボランティアには計246人が参加、徹底的な分別・撤去を実施し、3,475kgの廃棄物を処理しました。
- ・上記事業を実施したことで、不法投棄の未然防止の普及・啓発を図ることができました。

◆パラスポーツ用具整備プロジェクト

・山梨県障害者スポーツ協会が行うスポーツ交流教室や指導者派遣時等に使用するパラスポーツ用具の整備に対し、助成しました。

・サウンドテーブルテニス台（視覚障害用卓球台）1台、ラケット9本、ボール4箱、車いす2台を購入しました。

・パラスポーツの普及に向け、県主催のパラスポーツイベントや指導員養成のための講習会等で購入した用具を活用しました。

・今後、障害者、健常者問わず用具の貸し出し事業やパラスポーツ体験会、指導員派遣等で活用していきます。



(R5年度実績：用具貸出件数203件、体験会72件、指導員派遣55件)

◆山梨県立日川高等学校グラウンドの人工芝生化事業

山梨県立日川高等学校は120年を超える歴史を重ねてきた山梨県でも有数の伝統校です。「文武両道」を教育方針に持ち、ラグビーをはじめ部活動が盛んに行われています。しかし、ここ最近では日常的に人工芝グラウンドで練習する私立学校等に苦戦し、以前のように上位の成績を残せない状況にあります。

そこで、普段から生徒が大会に近い環境で練習でき、大会で遺憾なく実力を発揮し、私学をはじめ強豪校に打ち勝つため、土のグラウンドを人工芝生化することを計画しました。

令和4年度から寄附募集活動を開始し、皆様のご支援により、令和5年度末までに約2,000万円のご寄附を集めることができました。

人工芝生化に必要な目標金額1億3,000万円を目指し、令和6年度も寄附募集を実施していきます。引き続きご協力をお願いいたします。

The poster features a large image of the school's current grass field and a smaller inset showing the planned artificial turf field. Text on the poster includes the school name, project title, and details about the fundraising goal and timeline.

山梨県立日川高等学校

県立学校魅力向上プロジェクト

～第1弾!!日川高校グラウンド人工芝生化!～
プロジェクトへのご寄附にご協力をお願いします!

現在の日川高校グラウンド

人工芝グラウンドイメージ

事業計画

- 工事内容
現在の土のグラウンド約1万㎡の全面人工芝生化。人工芝の外側への流出抑制などの対策により、環境負荷の少ない人工芝グラウンドの実現を目指します。
- 事業費(概算)
目標全工事事業費:約1億7,000万円
(物産品贈分は含まない)
維持管理費:10年で約500万円

ご寄附は「ふるさと納税」を活用して募集します!

寄附目標金額 | **1億3,000万円**

寄附募集期間(予定) | **令和6年10月末まで**

- 教育環境の充実により、魅力ある学校を目指します!
- 練習環境の改善により、部活動が強化され、全国の強豪校に打ち勝つことを目指します!
- 学校開放や地域交流の場により、地域の活性化を目指します!

▼寄附のお申し込みはこちら

さとふるクラウドファンディング 日川高等学校 検索

さとふる納税についてのご説明は裏面へ

https://www.satofull.jp/projects/business_detail.php?crowdfunding_id=370

※個人の方でインターネットからのご寄附が難しい場合は、紙の寄附申請書によるご寄附のお申し込み方法をご案内いたしますので、お問い合わせください。

・令和6年度寄附募集ページ

https://www.satofull.jp/projects/business_detail.php?crowdfunding_id=370

その他の事業

◆東京ガールズコレクション事業



観光客数に占める割合が少ない「20歳～30代の女性」に対し、山梨の観光資源や地場産品を知ってもらい、訪れてもらうため、東京ガールズコレクションがプロデュースした「TGC FES YAMANASHI 2023」を令和5年10月21日（土）に開催しました。

開催テーマ：「Treasure Box crossover（トレジャーボックスクロスオーバー）」の下、世界文化遺産：富士山をバックにしたスペシャルなロケーションを舞台に、アーティストライブやファッションショーといったTGCならではのコンテンツにより、フルーツ、ワイン、名水、そして長い歴史に育まれた匠の技が織り成すジュエリーやテキスタイルなど、宝箱に詰め込まれた溢れんばかりの魅力を全国に発信しました。

（事業の成果）

- ① 来場者数：延べ約5,500名
- ② ライブ配信総視聴者数：延べ約482,000名
- ③ 経済効果：約9億円超

◆山梨県立美術館メタバース運営事業

県立美術館ではメタバース空間を活用し、山梨県市川三郷町在住の現代美術作家・雨宮庸介氏による新制作作品展示『まだ溶けていないほうの山梨県美』を開催しました。



会 期：令和6年2月27日(火)～令和6年3月24日(日)

開催場所：山梨県立美術館、メタバース

展示内容：ギャラリー・エコー（県立美術館エントランス）にて、彫刻作品等によるインスタレーションを展開。また、メタバース空間内では、事前に県立美術館で撮影した映像作品を展開。VRゴーグルで鑑賞し、現実と仮想の空間が往来する、これまでにない非日常的な鑑賞体験を創出しました。

山梨県は様々な文化芸術振興の取り組みを通じて、今後も幅広い芸術活動への支援や美術館活動の充実に繋げて参ります。

成果報告書のお問い合わせ先について

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

山梨県総務部財源確保・資産活用推進課

資産活用・ふるさと納税推進担当

TEL：055-223-1314（直通）

E-Mail：shisan@pref.yamanashi.lg.jp

URL：https://www.pref.yamanashi.jp/furusato-tax/